

吹田市立第六中学校 部活動に係る活動方針

令和8年4月1日

1. 部活動の目的

学校教育の一環として行われる部活動は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、単に、知識・技術・競技力を向上させるだけでなく、多様な活動・経験を通して、人間的な成長をめざすことを目的とする。

2. 運営について

- (1)各部活動ごとの特性や活動内容に応じて、年間及び毎月の活動計画を作成する。活動は生徒の状況に応じて計画的及び弾力的に行うとともに、保護者にも提示し理解と協力を求める。
- (2)顧問は複数で担当し、過度の負担が生じないようにすることが望ましい。
- (3)令和8年度は、女子バスケットボール部・バドミントン部の2クラブが外部機関と連携して、運営を行う。窓口顧問を設置し、十分な連携を図るとともに、生徒情報を共有できる体制を作る。
- (4)顧問が学年会議、職員会議、懇談等でいない時は、必ず居場所を伝え、ケガが派生した場合など、生徒からの連絡がスムーズに伝わる体制を作る。

3. 休養日及び活動時間の設定について

- (1)学期中は、週2日以上休養日(週当たり平日1日、土曜日及び日曜日どちらか1日)を設ける。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。
- (2)長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いとする。生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間を設ける。
- (3)1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度(朝練は1日の活動時間に含む)、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- (4)学校の休業日に練習試合等で4時間以上の活動となる場合は、生徒の健康管理に十分配慮して休憩時間を適切に設定し、無理のないよう活動するとともに、後日に休養日を設けるなどの配慮を行う。
- (5)準備や片づけの時間は活動時間に含まない。

4. 指導について

- (1)部活動の指導に当たって、体罰は、いかなる理由があっても、決して許されるものではない。
また、威圧的な言動等による指導によって、生徒の自発性を損なうことの無いよう考慮して指導に当たる。
- (2)適切な指導方法、コミュニケーションの充実等により、生徒の意欲や自主的、自発的な活動を促す。
- (3)熱中症が起こりやすい環境での活動時は、活動時間や場所を変更するなど適切な対応を行う。

5. その他

- (1)事故の未然防止のため、施設・設備の点検を定期的実施する。
- (2)無理のない安全な活動メニューを心掛け、自主的に行うことを基本とする。
- (3)大会参加や練習試合等については、日程等を十分に考慮し、過度な負担とならないようにする。
- (4)試合や発表会等校外への移動手段は、徒歩・公共交通機関を基本とする。なお、自転車を利用する場合、行程は引率を行うこと。